

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イオンタウン松原新堂 新築工	階数	地上2F
建設地	大阪府松原市新堂	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	5,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,工場,等	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2023年9月 竣工	評価の実施日	2023年10月5日
敷地面積	19,872 m ²	作成者	松井 秀樹
建築面積	9,341 m ²	確認日	2023年10月5日
延床面積	17,331 m ²	確認者	松井 秀樹

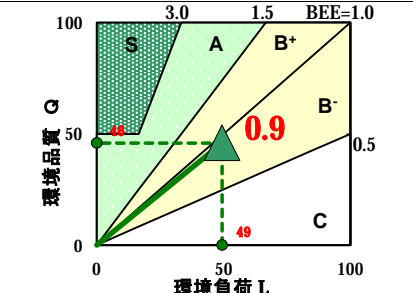


図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

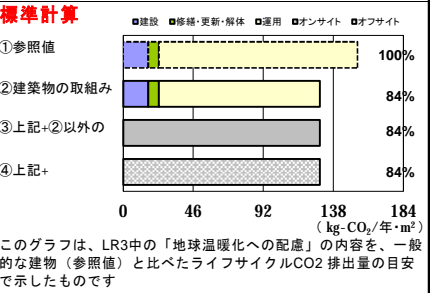


2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

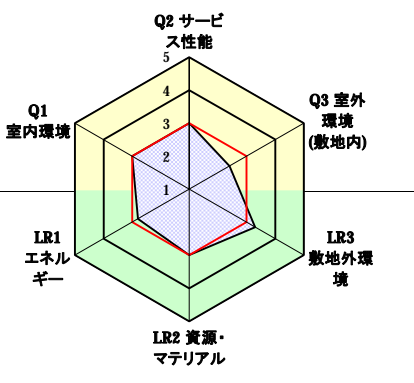
30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

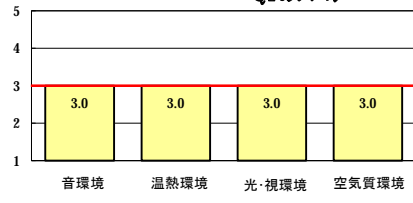
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



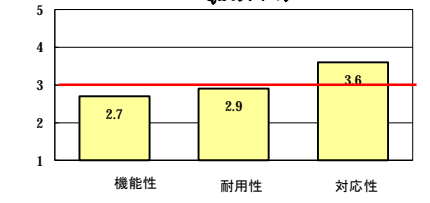
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

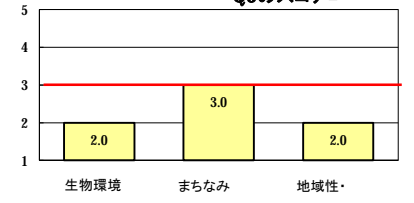
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0



Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

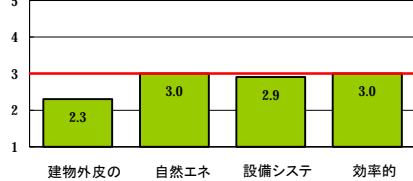


Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

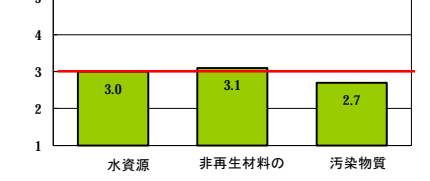


LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

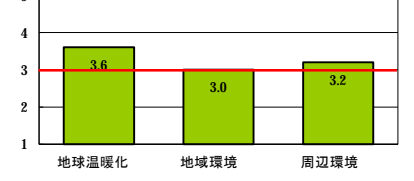
LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0



LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
可能な限り緑地を記し、景観に配慮した。	0	
Q1 室内環境 内装材はF☆☆☆☆を使用することで配慮している。	Q2 サービス性能 壁長さ比率は,0.1以上にて計画した	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り緑地を記し、景観に配慮した。
LR1 エネルギー LED照明を導入。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材が容易に分別可能にすることで配慮している。	LR3 敷地外環境 照明目的に合った照度を設定している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

【建物概要】	建物名称	(仮称)イオンタウン松原新堂 新築工事					
	建設地	大阪府松原市新堂					
	用途/区分	物販店 飲食店 工場 病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					2	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	2.3	2
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.9	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		